

〈対策のポイント〉

食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等、技術や知識の普及・定着を図り、アジア諸国におけるフードバリューチェーン（FVC）の構築を促進します。

〈政策目標〉

アジア各国で食品関連産業の品質向上に資する高度な知識を持った**技術者を育成**。

＜事業の内容＞

1. 本邦研修事業 12（12）百万円

- 対象者を日本に招へいし、**先進的なコールドチェーンなどの実態や高水準な品質管理の取組等を学ぶ機会**を提供するとともに、**研修者間で各国の開発状況に応じた課題を議論**するための研修を実施します。

2. 被援助国内研修事業 10（14）百万円

- 対象国に日本から技術的専門家を派遣するとともに、HACCP、ISO22000やトレーサビリティシステム等の食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等、**FVCの各段階において各国が具体的に必要とする技術や留意点及び整備が必要となる制度・規制等を習得するワークショップ等**を開催します。

3. 教材作成事業 2（-）百万円

- **事業終了後も各国内での活動が自主的かつ持続的に実施されるよう**、現地研修等の成果も踏まえ、対象国の状況に合わせたFVCの各段階の優良事例や留意事項等に係る**手引書の作成**を行うとともに、**APOのデジタルサービスを活用した研修システムを整備**します。

〈事業の流れ〉



＜事業イメージ＞

- 現場レベルでのFVC構築のために必要となる以下の課題に対応するため、本邦及び現地研修を実施
 - ・ **食品安全・品質の確保**
 - ・ **生産性の向上手法等の知識や技術等の普及・定着**

本邦研修

- 現場レベルで中核となる技術者を日本に招へい
- 日本の先進的なFVCの実態や技術を学ぶ研修等を実施



現地研修

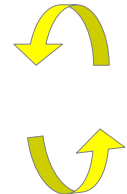
- 日本から技術的専門家を派遣
- 各国でそれぞれの状況に応じたワークショップや技術研修を実施し、本邦研修を受講した者も参加し、習得した技術や知見を共有



期待される効果

- 食品安全・品質の確保や生産性の向上手法等技術等の普及・定着が図られることで、支援対象国においてFVCの構築が促進される。
- 途上国において我が国の食品関連企業が活動する際に課題となっていた品質管理等が改善され、商品の付加価値が向上し収益の向上等が図られることから、海外展開が促進される。

各国内における自主的な活動のため、研修教材等の作成や提供



自主的かつ持続的な活動へ